

平成27年度後期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業の改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

中間：平成27年11月5日(木)～12月8日(火)

期末：平成28年1月18日(月)～2月18日(木) (※集中講義は別途実施)

(3) 実施科目

アンケート実施率は60.3%(昨年度同期82.3%)で、回答率は29.2%(昨年度同期34.5%)であった。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	115	115	85	73.9%	4,292	1,538	35.8%	48.0%
工学部	79	79	69	87.3%	3,843	1,476	38.4%	35.6%
人間文化学部	190	190	110	57.9%	4,434	1,080	24.4%	31.6%
人間看護学部	28	28	13	46.4%	1,053	402	38.2%	31.6%
全学共通教育	239	239	111	46.4%	4,671	849	18.2%	27.9%
人間学	22	22	16	72.7%	1,286	383	29.8%	30.7%
地域科目	5	5	5	100.0%	347	83	23.9%	-
合計	678	678	409	60.3%	19,926	5,811	29.2%	34.5%

(4) 設問内容

設問1 授業開講時に、担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。

- ①まったく説明されなかった
- ②あまり説明されなかった
- ③ほぼ説明された
- ④しっかりと説明された

設問2 授業の流れは、理解が進むようよく整理されていましたか。

- ①まったく整理されていなかった
- ②あまり整理されていなかった
- ③ほぼ整理されていた
- ④よく整理されていた

設問3 授業の進み具合は適切な速さでしたか。

- ①まったく適切でなかった
- ②あまり適切でなかった
- ③ほぼ適切だった
- ④とても適切だった

設問4 教員は学生とコミュニケーションをとるように努めましたか。

- ①まったくとっていなかった
- ②あまりとっていなかった
- ③ほぼとっていた
- ④とても積極的にとっていた

- 設問5 教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
①まったく聞き取れなかった ②あまり聞き取れなかった ③ほぼ聞き取りやすかった
④とても聞き取りやすかった
- 設問6 視覚情報(板書の記載、プロジェクターの表示など)は見やすく、質・量ともに適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない
- 設問7 テキストや講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。
①まったく役立たなかった ②あまり役立たなかった ③ある程度役立った ④とても役立った
⑤あてはまらない
- 設問8 教員は授業期間内に、テストやレポート、質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。
①まったく確認していなかった ②あまり確認していなかった ③ほぼ確認していた
④よく確認していた
- 設問9 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して、適切な対応を行いましたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない
- 設問10 総合的にみて教え方は適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
- 設問11 この授業にどれだけ出席しましたか。
①4回以上欠席 ②3回欠席 ③2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席
- 設問12 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか。
①ほぼ0分 ②30分未満 ③30分～1時間 ④1時間以上
- 設問13 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。
①まったく達成できなかった ②あまり達成できなかった ③ほぼ達成できた ④よく達成できた
⑤到達目標が示されていない・自覚していない
- 設問14 この授業は全体として満足できるものでしたか。
①まったく満足できなかった ②あまり満足できなかった ③ほぼ満足できた
④とても満足できた
- 設問15 この授業を受けて、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたか。
①まったく思わなかった ②あまり思わなかった ③ある程度思った ④強く思った

【設問16～19は実習・演習科目用】

- 設問16 実習・演習に使用する用具や備品などの準備は適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない
- 設問17 実習・演習の教員やTAの補助や対応は適切でしたか。
①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない

設問18 学生の実習・演習の進め方(進行状況)や理解度について、教員やTAは適切に確認をしましたか。

- ①まったく適切でなかった ②あまり適切でなかった ③ほぼ適切だった ④とても適切だった
⑤あてはまらない

設問19 あなたは、この実習・演習に必要な準備を行いましたか。

- ①まったくしなかった ②あまり行わなかった ③ほぼ行った ④十分行った ⑤あてはまらない

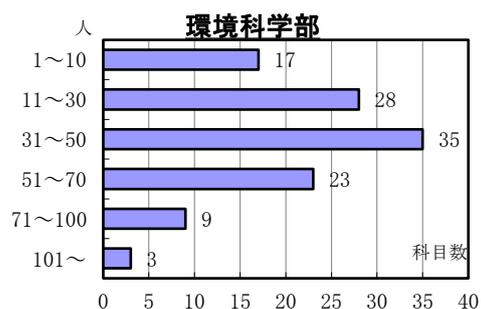
※このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

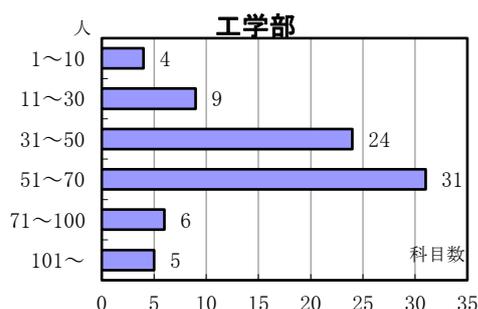
(1) 平均ポイント (学部等別)

アンケート項目	環境	工	人文	人看	全共	人間学	地域	全学
Q1.授業の進め方・目標・成績評価の説明	3.5	3.5	3.5	3.6	3.4	3.4	3.4	3.5
Q2.授業の流れの整理	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4
Q3.授業の進む速さ	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4
Q4.学生とのコミュニケーション	3.4	3.3	3.2	3.4	3.5	3.1	3.0	3.3
Q5.声・話し方	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5	3.5	3.2	3.5
Q6.視覚情報	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3
Q7.テキスト・講義資料	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4
Q8.学生の理解度の確認	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5
Q9.迷惑行為に対する対応	3.1	3.2	2.8	3.5	2.8	3.3	3.3	3.0
Q10.総合的に見た教え方	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.2	3.4
Q11.授業への出席	3.2	3.6	3.5	3.9	3.5	3.2	3.5	3.5
Q12.毎週の学習時間	2.4	2.7	2.2	2.8	2.4	2.0	1.7	2.4
Q13.到達目標の達成度	2.9	3.0	2.8	3.1	3.0	2.8	2.8	2.9
Q14.授業の満足度	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3
Q15.継続して学びたくなったか	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	2.9	3.1
Q16.用具や備品の準備	3.2	3.2	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3
Q17.教員やTAの対応	3.0	2.9	3.5	3.2	3.3	3.0	3.2	3.2
Q18.学生の進行状況の確認	3.1	3.1	3.4	3.1	3.3	3.1	3.1	3.2
Q19.(学生が)準備を行ったか	3.0	2.9	3.2	3.0	3.3	3.0	3.0	3.1

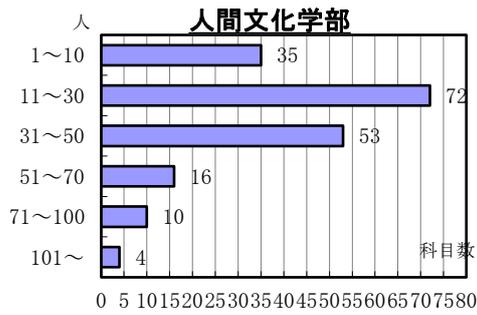
※ 参考 (科目別受講登録者数の状況)



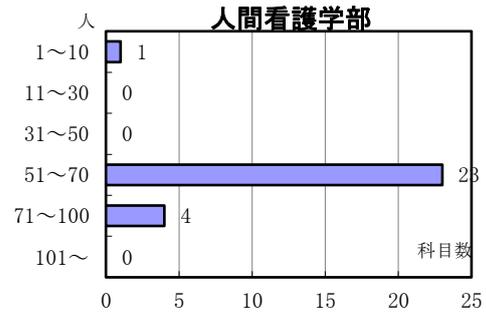
・ 平均履修登録者数 41.7人
(H25:42.4人)(H26:43.4人)／科目



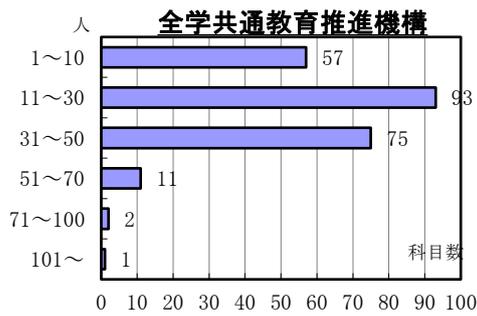
・ 平均履修登録者数 51.9人
(H25:55.2人)(H26:51.9人)／科目



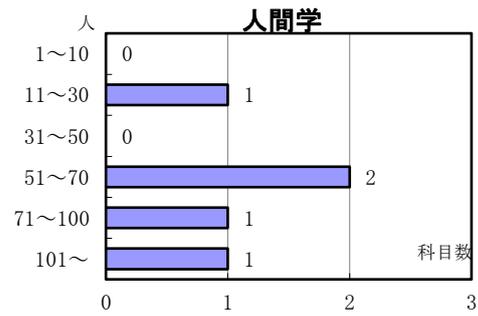
- 平均履修登録者数 31.6人
(H25:36.7人)(H26:38.3人)／科目



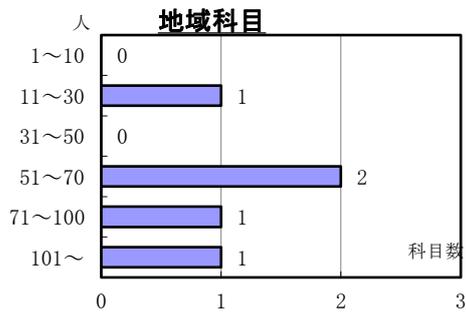
- 平均履修登録者数 66.4人
(H25:60.4人)(H26:69.8人)／科目



- 平均履修登録者数 25.8人／科目
(H25:29.4人)(H26:29.9人)／科目



- 平均履修登録者数 60.5人
(H25:79.9人)(H26:86.8人)／科目

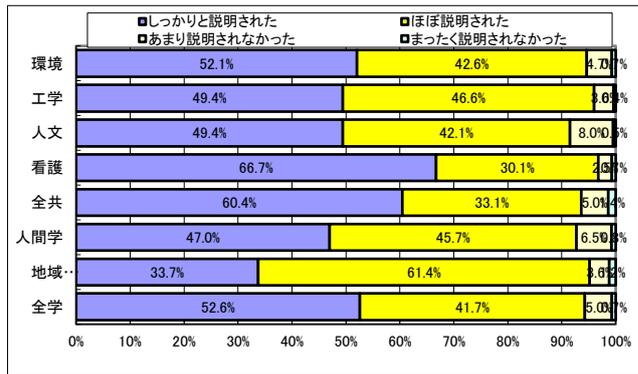


- 平均履修登録者数 69.4人／科目

1科目あたりの履修登録者数の平均は、全ての科目区分で減少している。

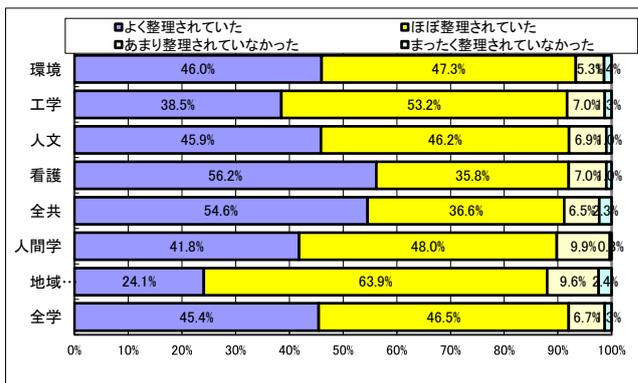
(2) 項目別結果 — 学部等別 —

設問1 授業開講時に、担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。



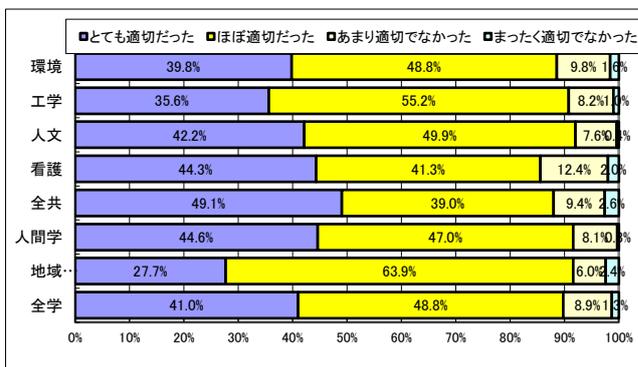
全学平均では9割以上の科目で「しっかりと説明された」「ほぼ説明された」と回答している。どの学部でも否定的な回答は1割未満と少なかった。人間看護学部においては、「しっかりと説明された」という回答が他の3学部と比較して高かった。

設問2 授業の流れは、理解が進むようよく整理されていましたか。



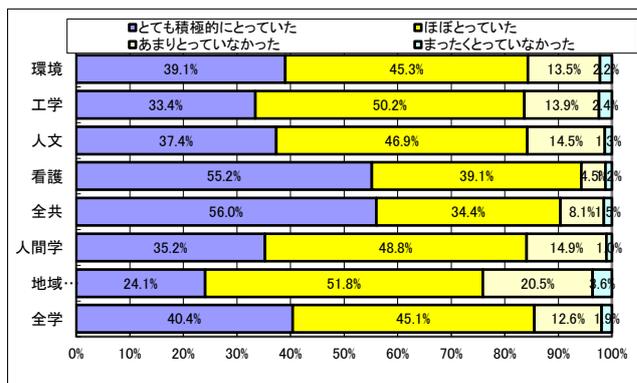
9割程度で「よく整理されていた」「ほぼ整理されていた」と回答されており、満足度は高いと考えられる。しかしながら、「あまり整理されていなかった」「まったく整理されていなかった」という回答が1割程度あることから、さらなる改善の余地がある。

設問3 授業の進み具合は適切な速さでしたか。



全学平均では、約9割が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。

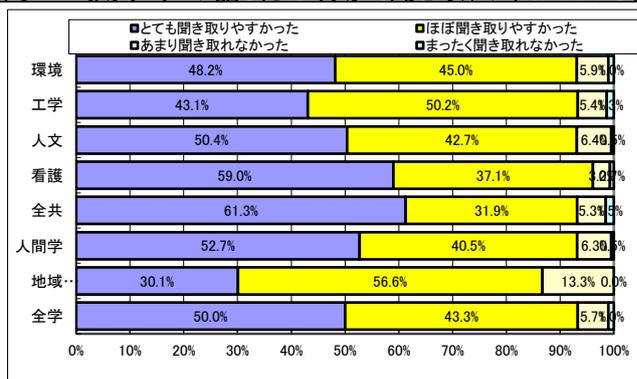
設問4 教員は学生とコミュニケーションをとるように努めましたか。



人間看護学部と全学共通教育推進機構の科目では、「とても積極的にとっていた」「ほぼとっていた」との回答が9割を超えており、他と比較すると高くなっている。

反対に地域基礎科目では、「あまりとってなかった」「まったくとってなかった」が2割を超えている。

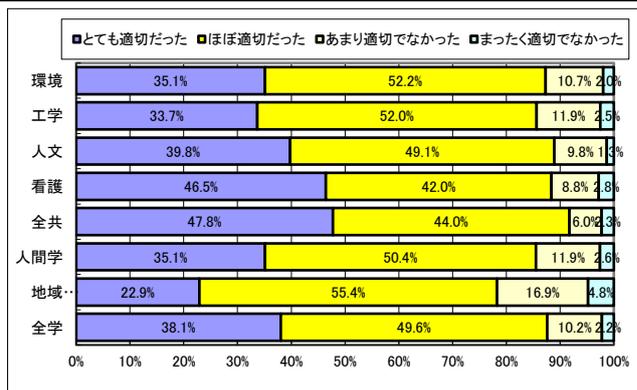
設問5 教員の声や話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。



9割程度の科目で「とても聞き取りやすかった」「ほぼ聞き取りやすかった」と回答している。

特に人間看護学部および全学共通の科目では、6割程度が「とても聞き取りやすかった」と回答しており、満足度が高いことがうかがえる。

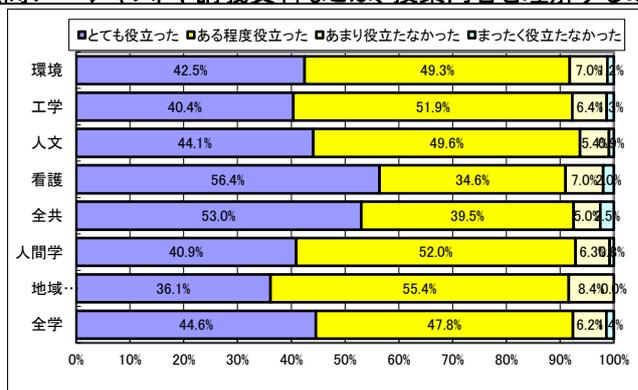
設問6 視覚情報(板書の記載、プロジェクターの表示など)は見やすく、質・量ともに適切でしたか。



全学を平均すると8割を超える科目で「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。

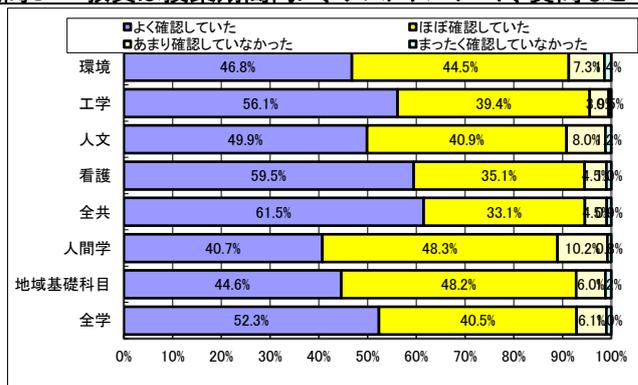
地域基礎科目は、「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」の回答割合が2割を超えており、改善の余地がある。

設問7 テキストや講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。



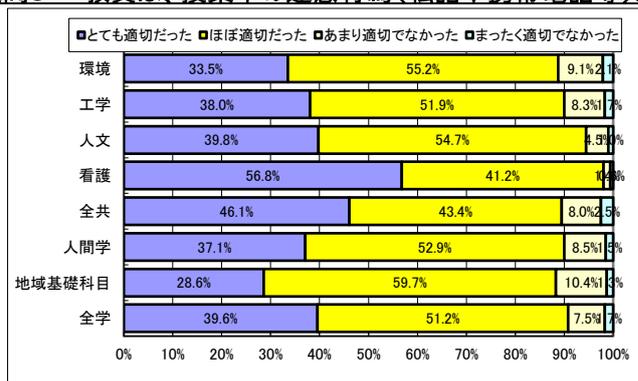
「とても役立つ」「ある程度役立つ」との回答が9割を超えている。特に、人間看護学部では、「とても役立つ」の割合が他と比較して高くなっている。

設問8 教員は授業期間内に、テストやレポート、質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。



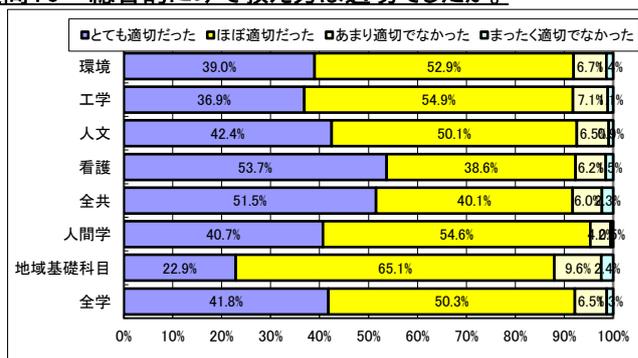
全学を平均すると9割程度が「よく確認していた」「ほぼ確認していた」と回答している。

設問9 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して、適切な対応を行いましたか。



人間看護学部では「とても適切だった」「ほぼ適切だった」という回答が9割を超え、他の学部と比較して高く、授業中の迷惑行為に対して適切に対応されていると思われる。
また、全学的には、9割程度の科目で「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答されているが、「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」と回答している学生が少なからずいることから、引き続き迷惑行為に対して適切な対応をとっていく必要がある。

設問10 総合的にみて教え方は適切でしたか。

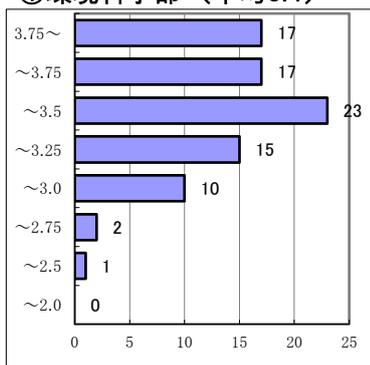


教員の教え方について、全学平均で9割程度が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。特に人間看護学部では、特に「とても適切だった」と回答した比率が他の学部と比較して高くなっている。反対に地域基礎科目では、やや低くなっている。

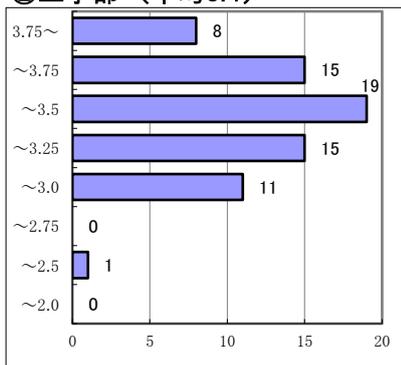
※ 設問10「教員の教え方は適切か」についての区分別分布

※ 縦軸:ポイント 横軸:科目数

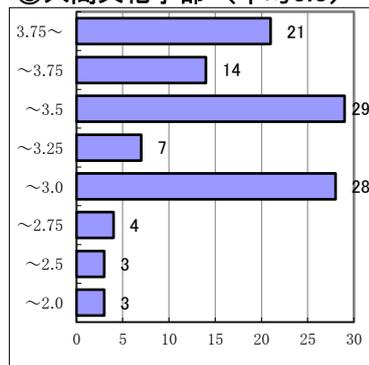
①環境科学部 (平均3.4)



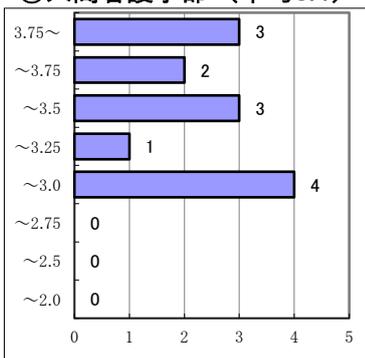
②工学部 (平均3.4)



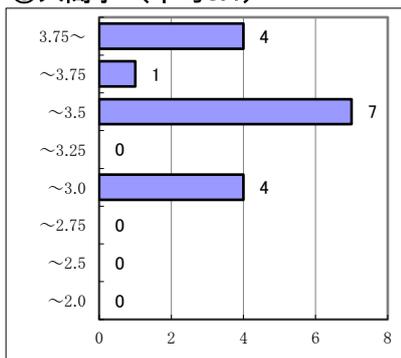
③人間文化学部 (平均3.3)



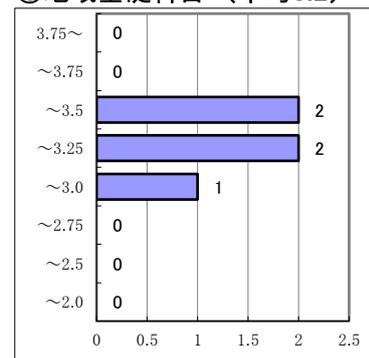
④人間看護学部 (平均3.4)



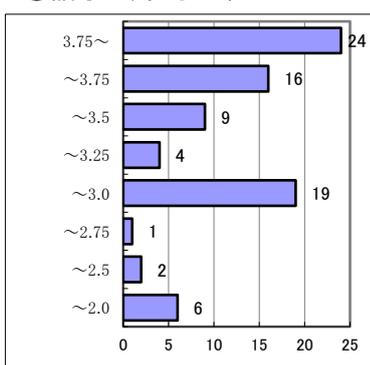
⑤人間学 (平均3.4)



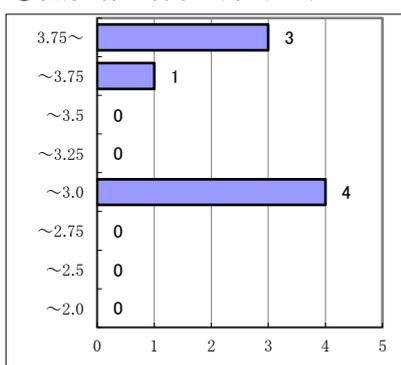
⑥地域基礎科目 (平均3.2)



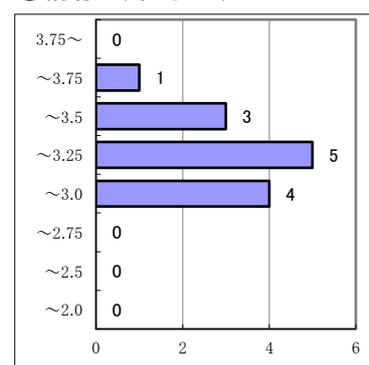
⑦語学 (平均3.3)



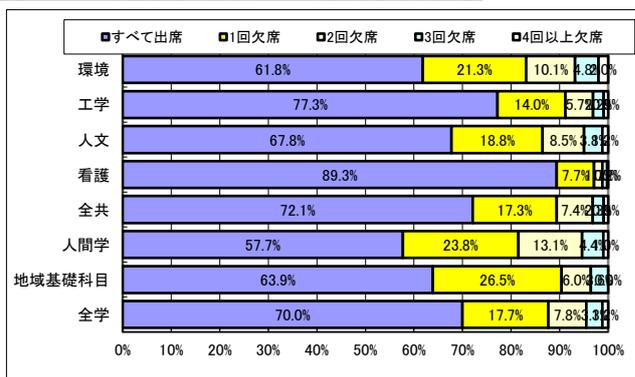
⑧健康・体力科学 (平均3.5)



⑨情報 (平均3.2)

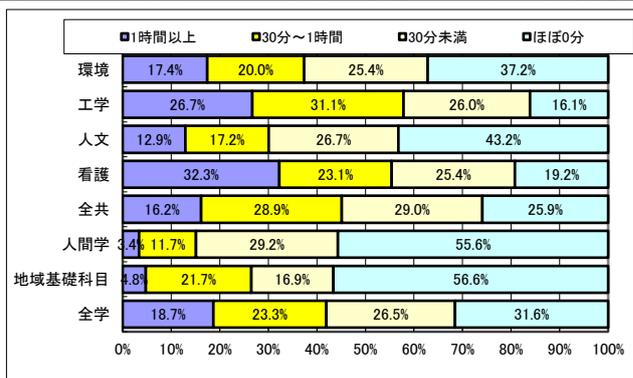


設問11 この授業にどれだけ出席しましたか。



全学平均では「すべて出席」の科目が7割程度である。また、例年同様人間看護学部の出席率が高い。分布については、全体としてあまり変化はない。

設問12 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか。

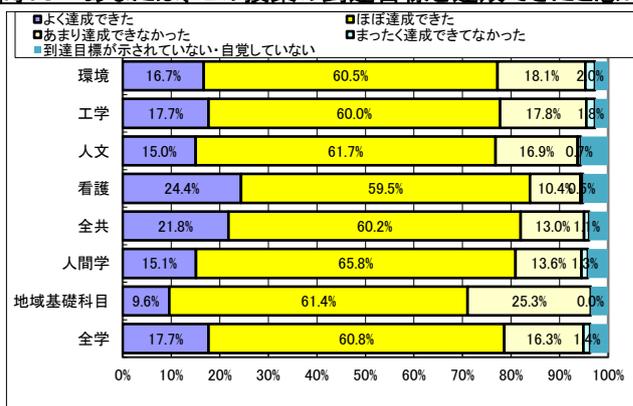


全学平均で「ほぼ0分」の割合が38.1%から31.6%にやや改善されている。

一方、「1時間以上」「30分~1時間」の各学部の割合は以下の通りとなり、学部によって学習時間にばらつきがあることがわかる。

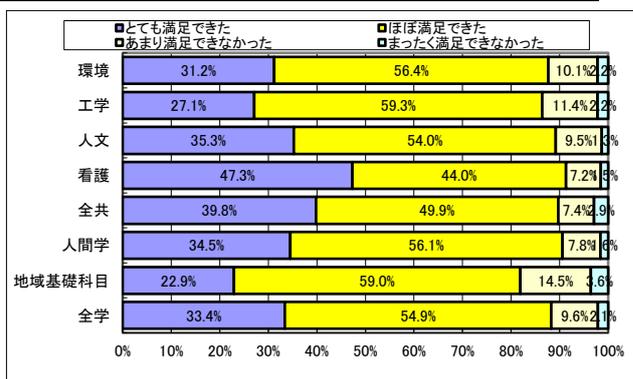
環境 H26後 38.8% → H27後 37.4%
 工学 H26後 51.7% → H27後 57.8%
 人文 H26後 26.4% → H27後 30.1%
 看護 H26後 62.5% → H27後 55.4%
 全共 H26後 39.0% → H27後 45.1%
 人間 H26後 16.5% → H27後 15.1%
 地域 H26後 4.8% → H27後 26.5%
 全学 H26後 38.1% → H27後 42.0%

設問13 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。



全学平均で7割超の科目で達成できたと回答している。

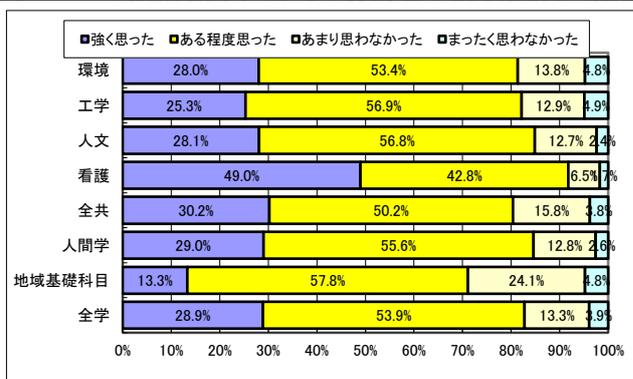
設問14 この授業は全体として満足できるものでしたか。



全学平均で、9割弱の科目で「とても満足できた」「ほぼ満足できた」と回答している。

特に、人間看護学部においては他と比較して「とても満足できた」のポイントが高くなっている。反対に、地域基礎科目では、否定的な回答が他と比較して高くなっている。

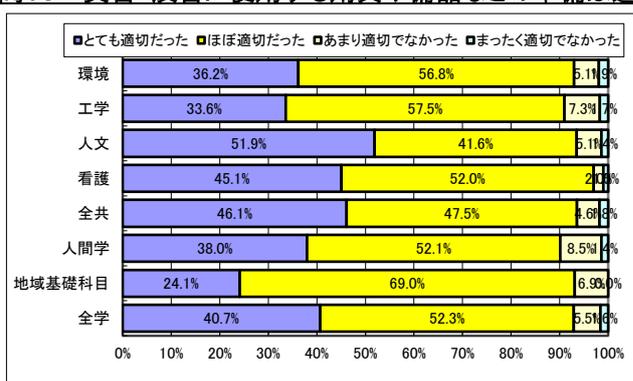
設問15 この授業を受けて、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたが。



全学平均では、8割程度が「強く思った」「ある程度思った」と回答している。
特に、人間看護学部においては、他の学部と比較して「強く思った」「ある程度思った」と回答した割合が高い。

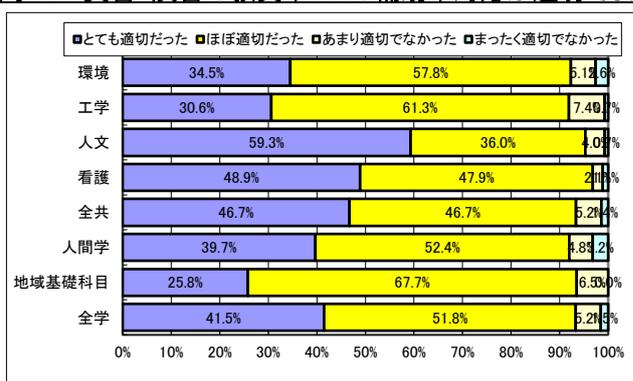
【設問16～設問19は実習・演習科目受講者のみ回答】

設問16 実習・演習に使用する用具や備品などの準備は適切でしたか。



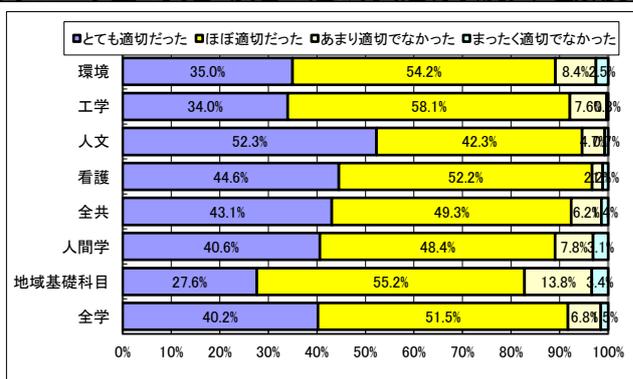
実習・演習で使用する用具や備品の準備について「とても適切だった」「やや適切だった」とする回答は全学平均で9割程度となっている。否定的な回答については学部間であまり偏りはない。

設問17 実習・演習の教員やTAの補助や対応は適切でしたか。



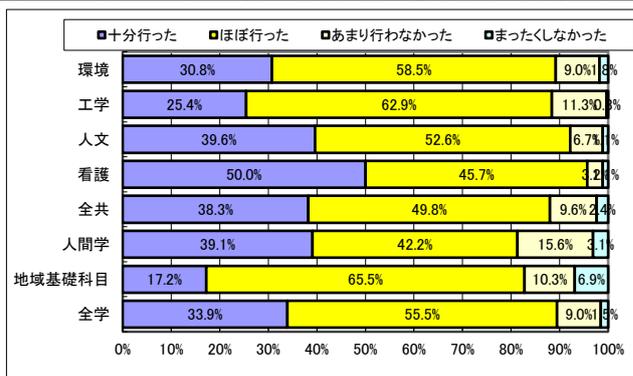
教員やTAの補助について、9割超の科目で「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。

設問18 学生の実習・演習の進め方(進行状況)や理解度について、教員やTAは適切に確認をしましたか。



学生の実習・演習の進行状況や理解度について、教員やTAの確認について、8割から9割程度が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。

設問19 あなたは、この実習・演習に必要な準備を行いましたか。



学生が実習・演習に向けて準備を行ったかという問いに対して、人間看護学部では95%以上が「十分行った」「ほぼ行った」と回答しているが、その他の学部では、「あまり行わなかった」「まったくしなかった」という回答が1割程度以上あった。

(3) 学生属性(学年別)の集計

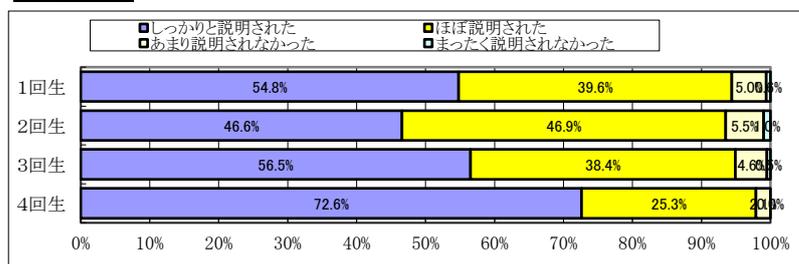
	環境	工	人文	看護	計
1回生	949	464	710	509	2,632
2回生	629	832	370	163	1,994
3回生	277	425	336	27	1,065
4回生	45	22	25	3	95
合計	1,900	1,743	1,441	702	5,786

※ その他(回答数:25)は大学院生または学部・学年が不明

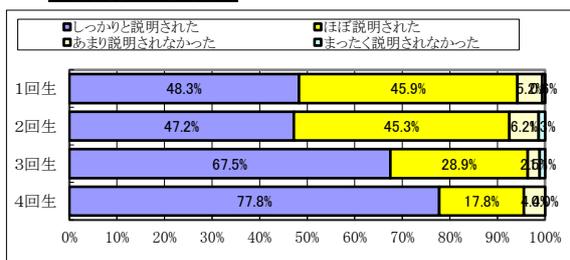
今回の調査は回答率が低いことにより、人間看護学部の3回生および各学部の4回生は、回答数が100名を切っており、分析結果に偏りが見られる。

Q1 授業の進め方、目標、成績評価基準についての説明

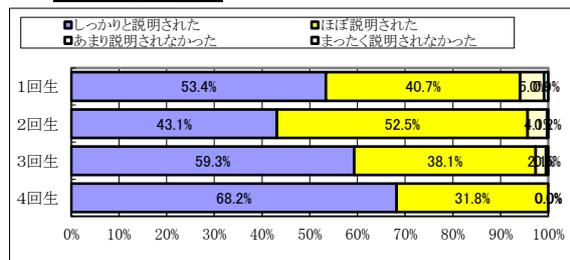
全学



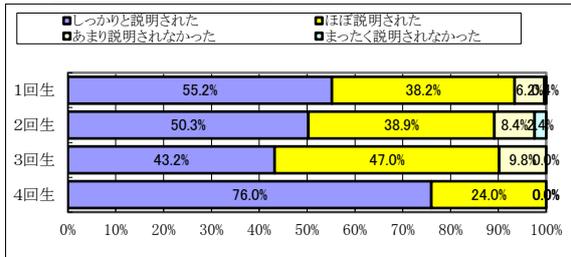
環境科学部



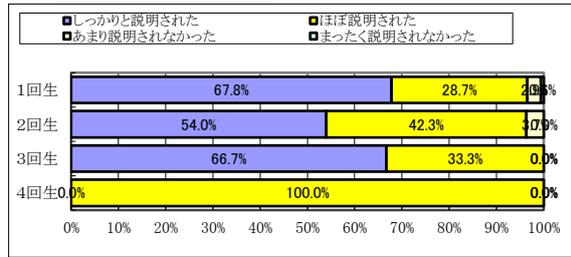
工学部



人間文化学部



人間看護学部

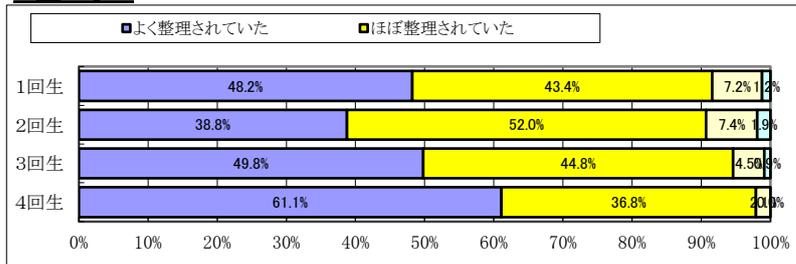


9割程度が「しっかりと説明された」「ほぼ説明された」と回答している。

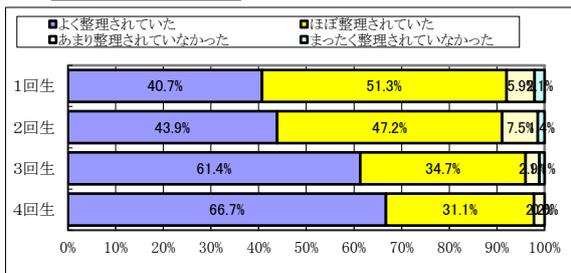
例年、全学的に学年が進行するごとに「しっかりと説明された」と回答した割合は増加する傾向があったが、今回は学部により回答に差が見られた。また、少ないながらも「あまり説明されなかった」「まったく説明されなかった」という回答もあることから、各学部においては、講義概要等の内容を点検し、改善していくことが求められる。

Q2 授業の流れは理解が進むよう整理されていたか

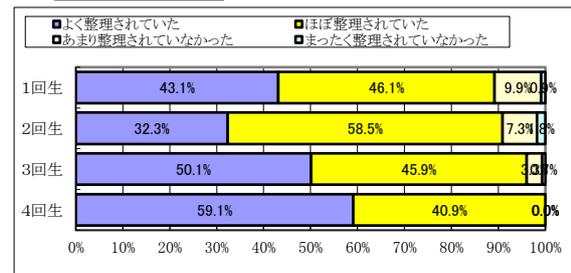
全学



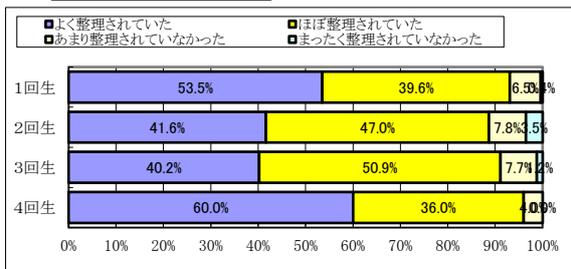
環境科学部



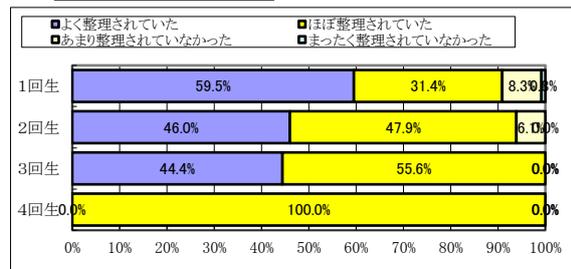
工学部



人間文化学部



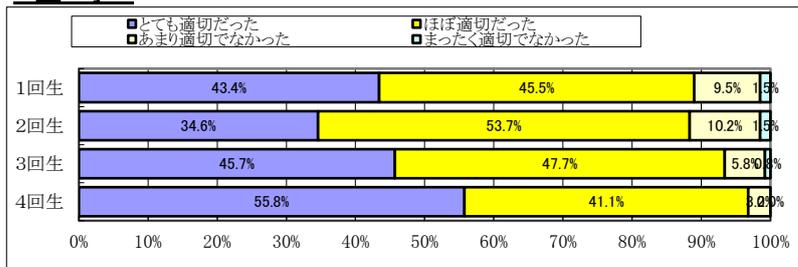
人間看護学部



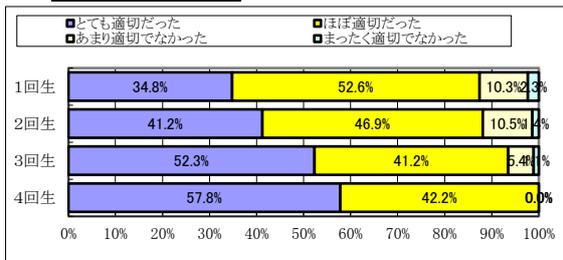
全学的に、例年通り否定的な回答は学年が進行するにつれて減少している。

Q3 授業の進み具合は適切な速さか

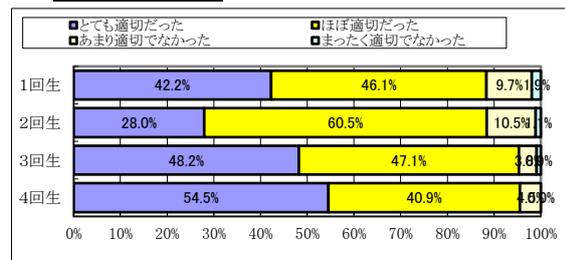
全学



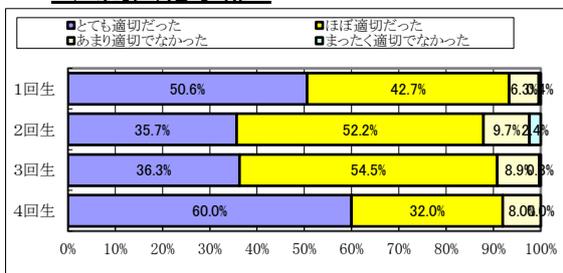
環境科学部



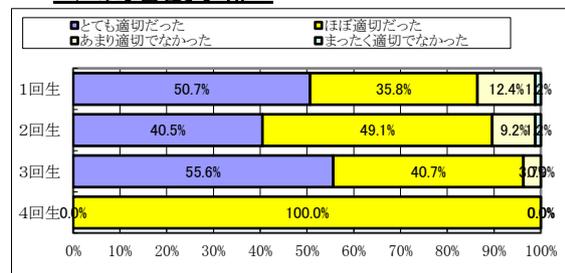
工学部



人間文化学部



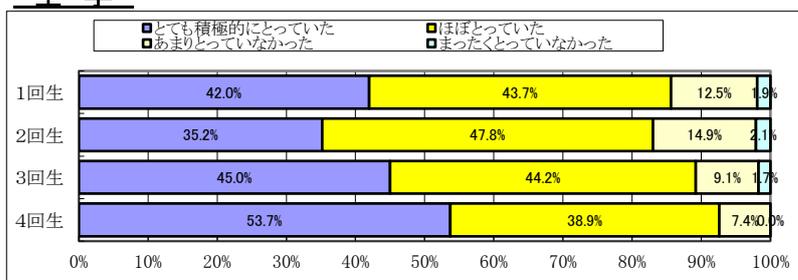
人間看護学部



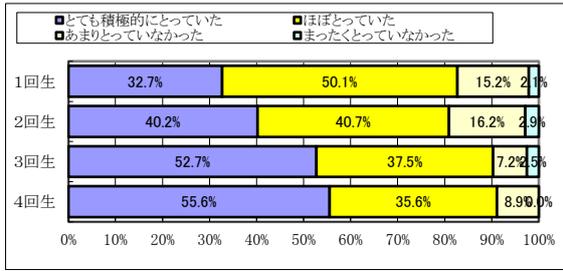
授業の進行速度について、全学平均で9割程度が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。また、学年進行にあわせて、否定的な回答は減少する傾向にある。

Q4 学生とのコミュニケーション

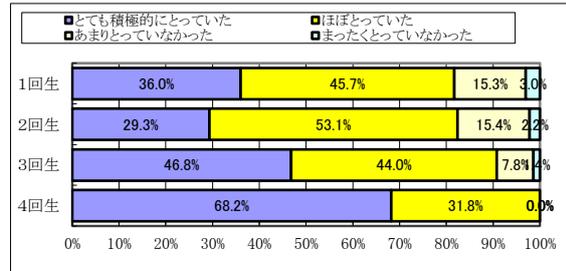
全学



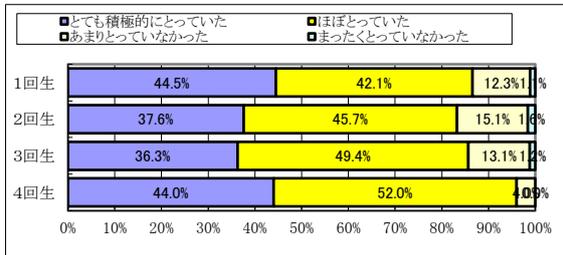
環境科学部



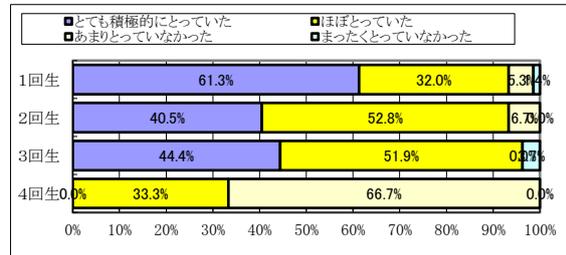
工学部



人間文化学部



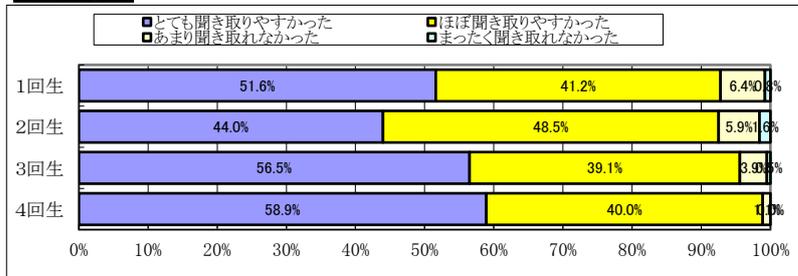
人間看護学部



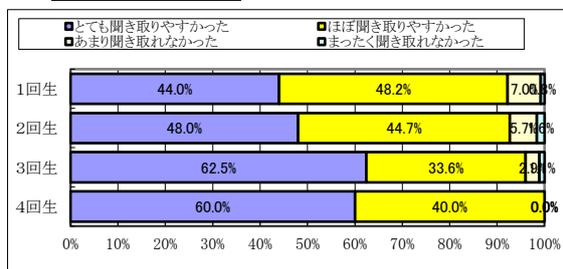
全学的に見ると、8割から9割程度が「とても積極的にとっていた」「ほぼとっていた」と回答する一方で、否定的な回答も一定数あることから、改善の余地はある。

Q5 声・話し方

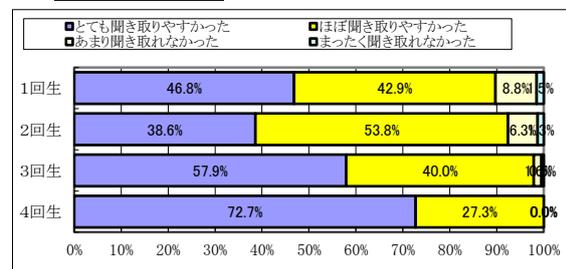
全学



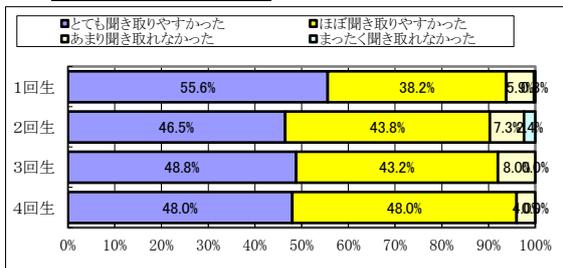
環境科学部



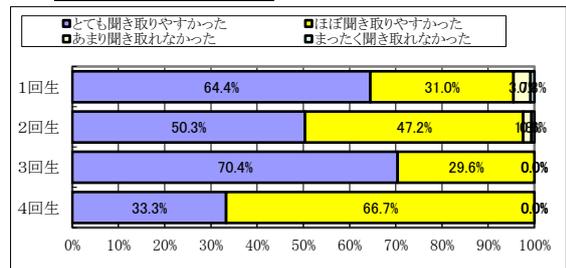
工学部



人間文化学部

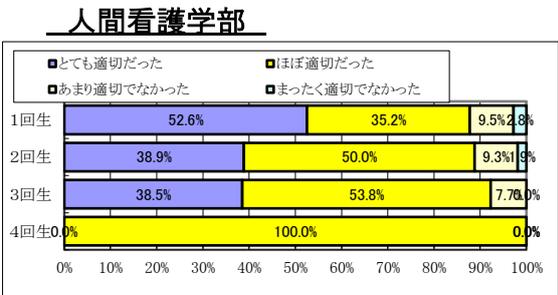
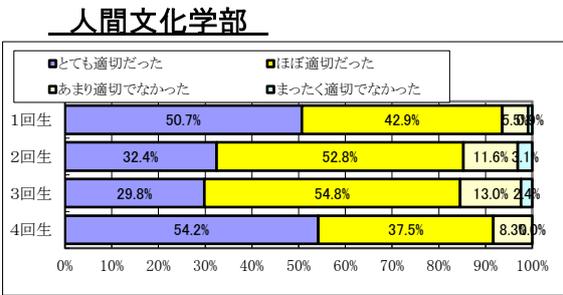
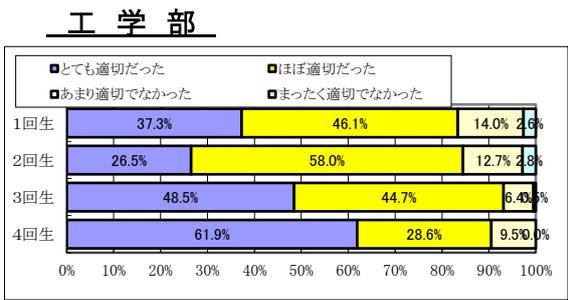
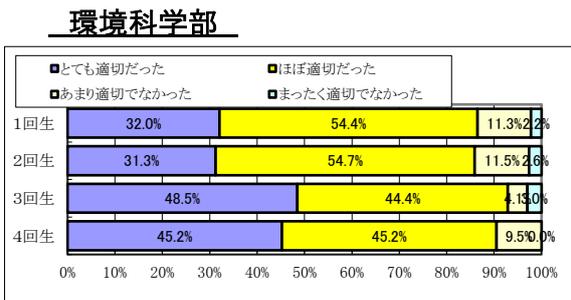
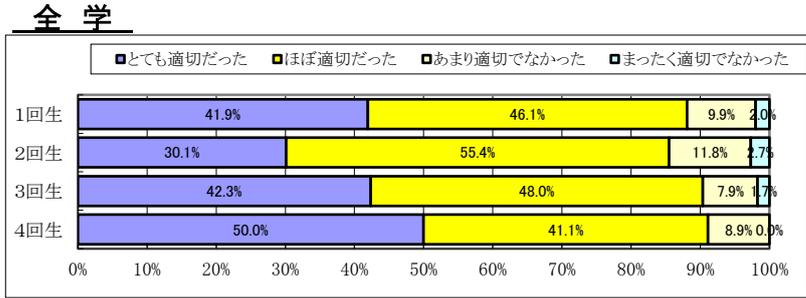


人間看護学部



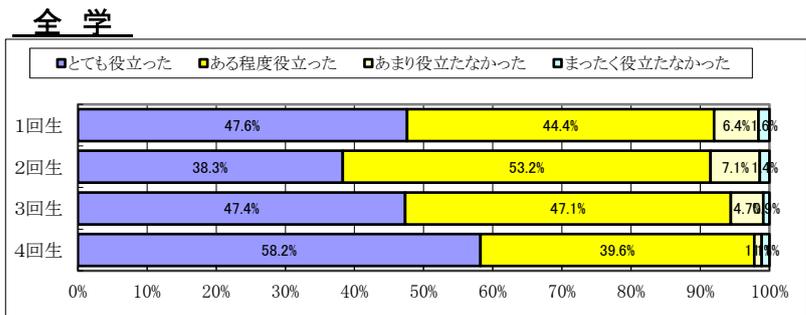
教員の声の大きさや話し方について、全学で見ると、9割程度が「とても聞き取りやすかった」「ほぼ聞き取りやすかった」と回答している。学年が進行していくにつれて、否定的な回答は少なくなっていく傾向がある。

Q6 視覚情報(板書・プロジェクター等)

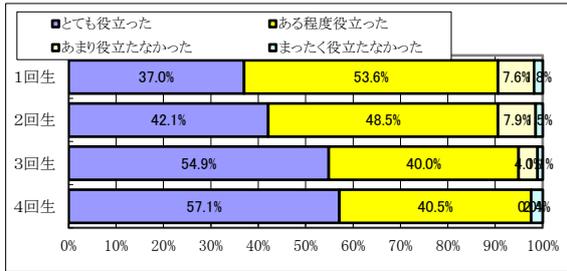


各学部・学年で「とても適切だった」と「ほぼ適切だった」の割合に多少のばらつきがみられるが、全学平均で8割から9割程度が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。

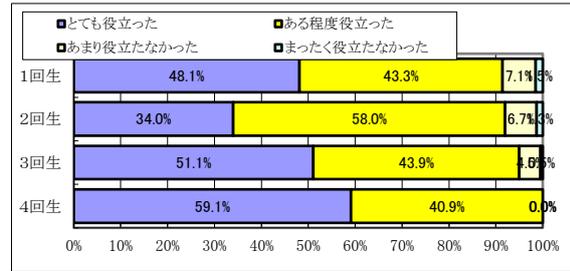
Q7 テキスト・講義資料



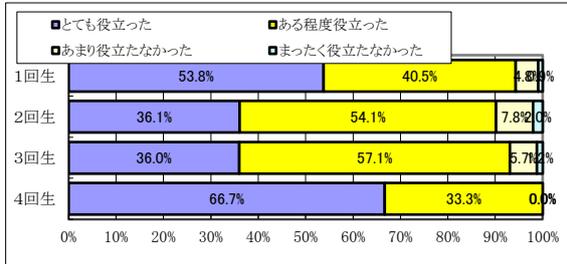
環境科学部



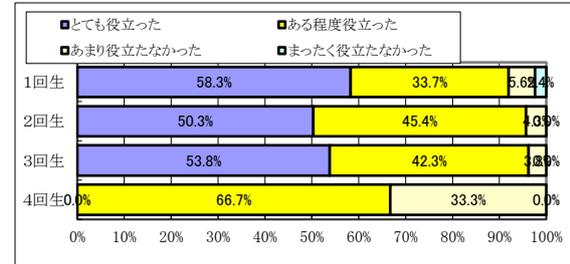
工学部



人間文化学部



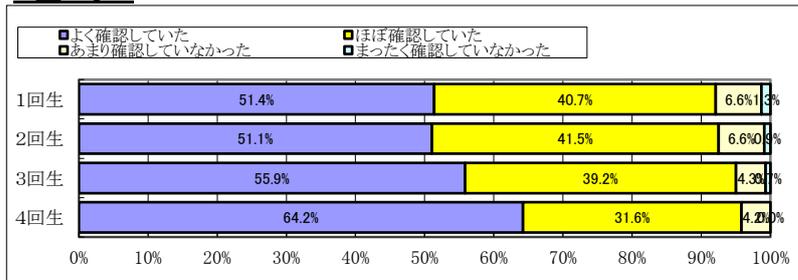
人間看護学部



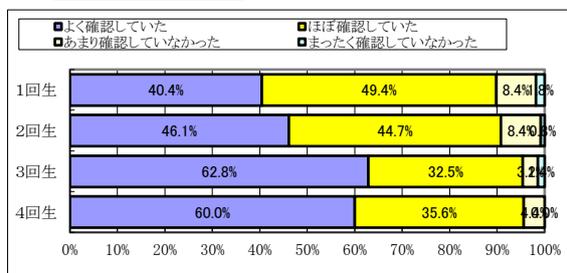
テキストや講義資料など授業で使用する教材について、Q6.「資格情報」と似たグラフの形をとっており、全学を平均して「とても役立つ」「ある程度役立つ」の回答が9割以上を占めている。一方で、否定的な回答も1割程度あることから、見直し等さらなる授業改善が望まれる。

Q8 教員が学生の理解度を確認していたか

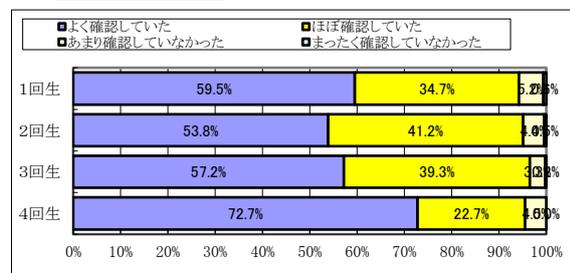
全学



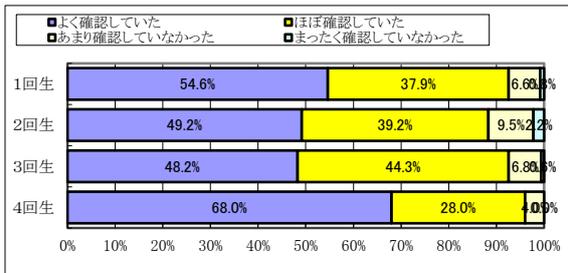
環境科学部



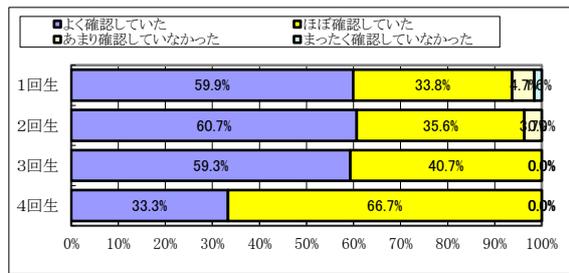
工学部



人間文化学部



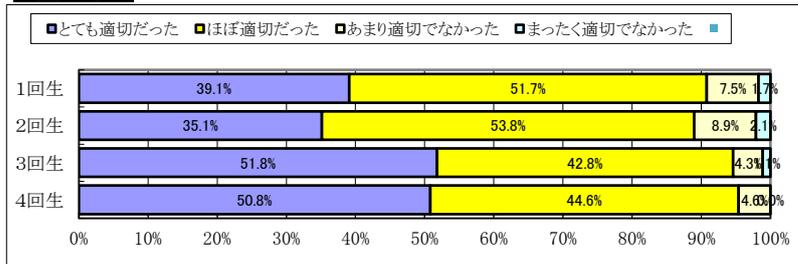
人間看護学部



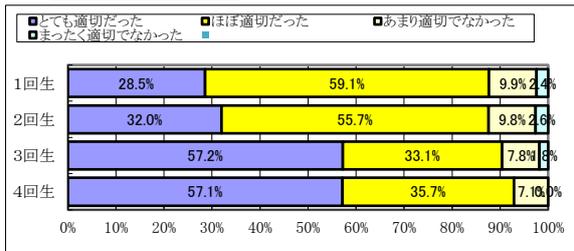
教員が学生の理解度を適宜確認していたかという問いに対しては、全学で平均して「よく確認していた」「ほぼ確認していた」という回答がほぼ9割を超えている。否定的な回答は学年が進行するにつれて低くなる傾向がある。

Q9 教員は授業中の迷惑行為への対応は適切であったか

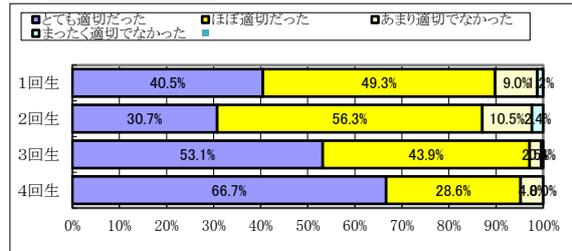
全学



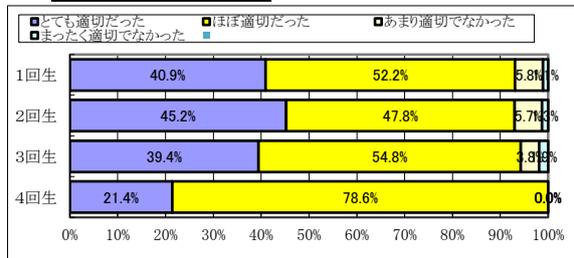
環境科学部



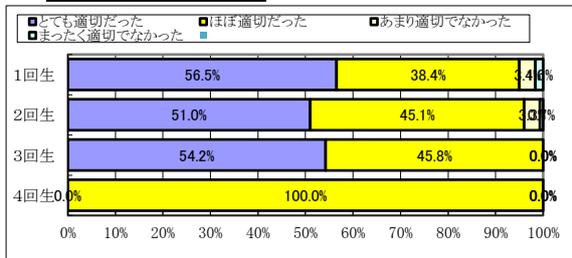
工学部



人間文化学部



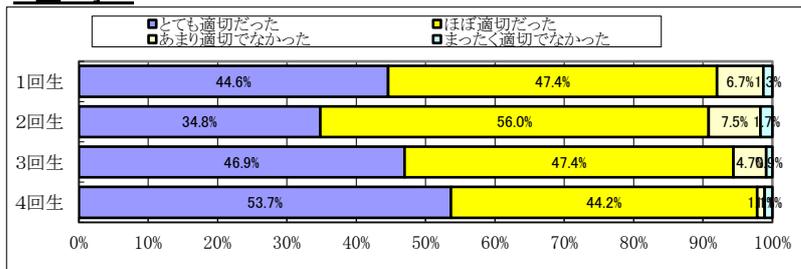
人間看護学部



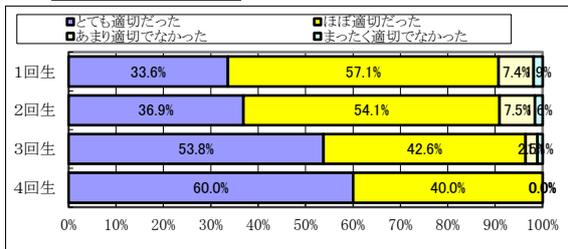
学部間で多少の偏りがあるものの全体的に1年生、2年生で適切な処置がとられていないと感じる割合が高かった。迷惑行為を行う学生が増えたことも考えられるが、当然のことながら入学後の早い段階で厳しく対応することが求められる。

Q10 総合的に見て教え方は適切であったか

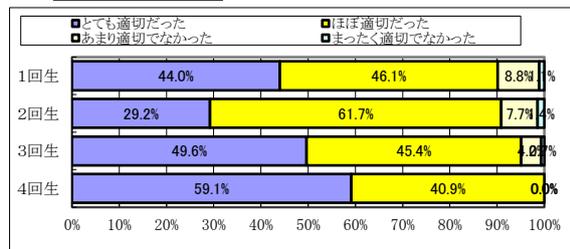
全学



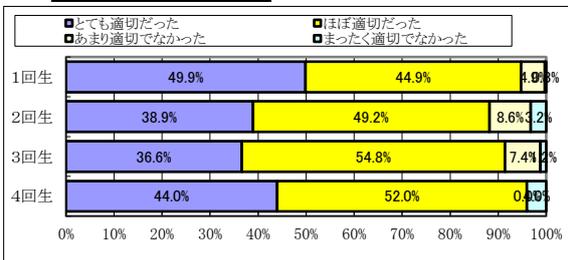
環境科学部



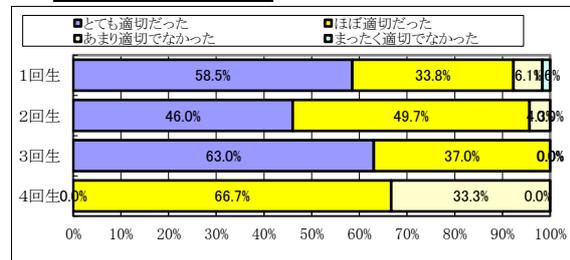
工学部



人間文化学部



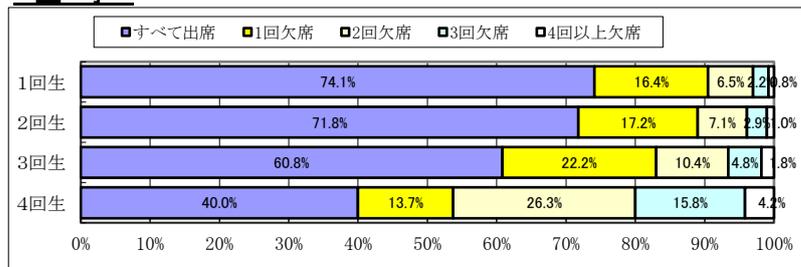
人間看護学部



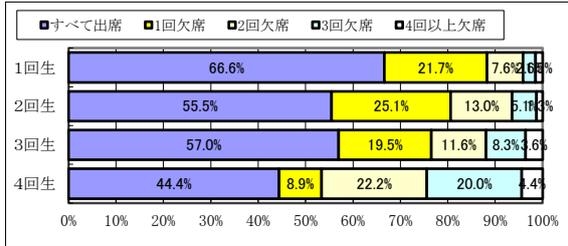
教員の教え方について、9割以上が「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している。一方で、「あまり適切でなかった」「まったく適切でなかった」という回答も1割程度ある。また、Q4.「学生とのコミュニケーション」と似たグラフの形をしている。

Q11 授業への出席回数

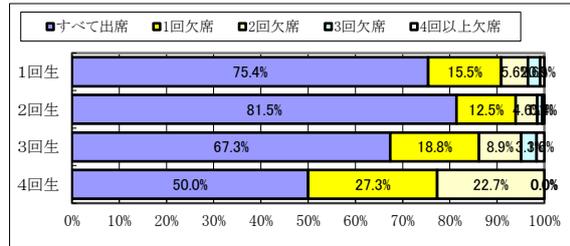
全学



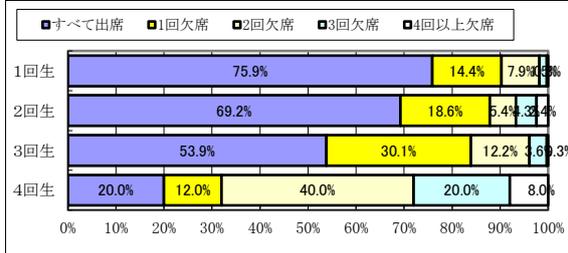
環境科学部



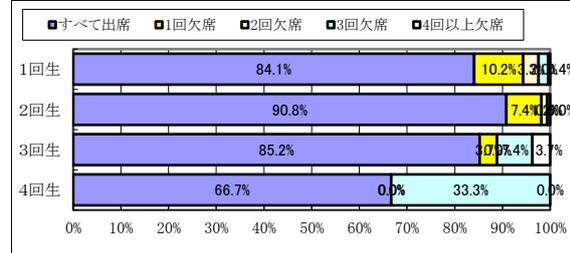
工学部



人間文化学部



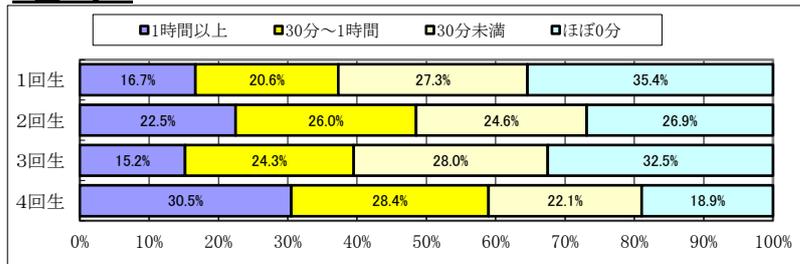
人間看護学部



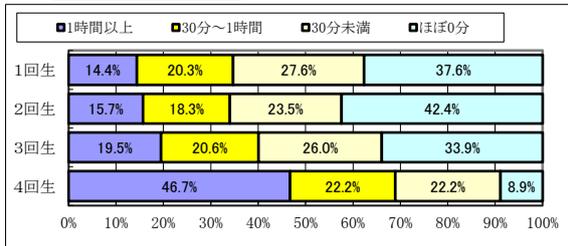
全学的に学年進行にあわせて出席率が下がる傾向にある。

Q12 この授業のための毎週の学習時間

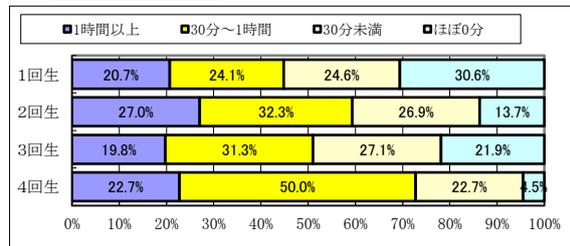
全学



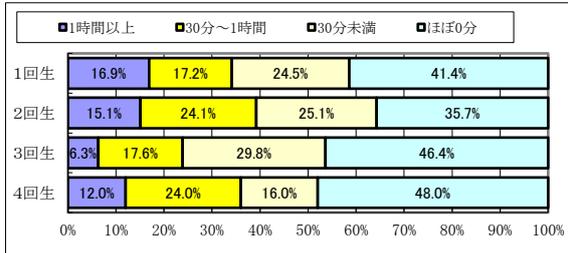
環境科学部



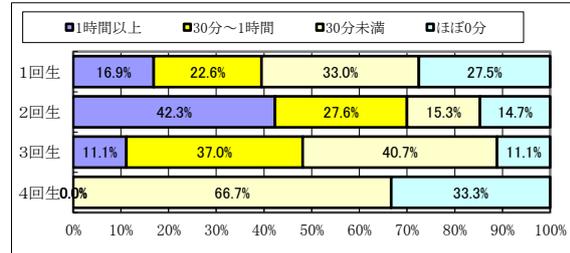
工学部



人間文化学部

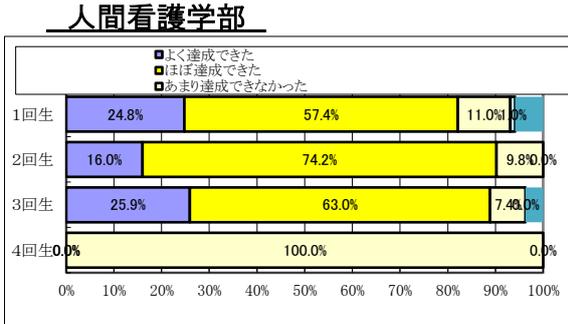
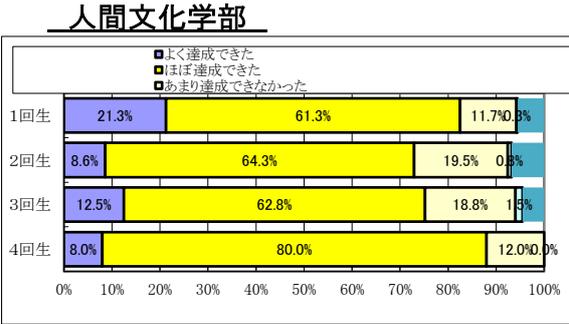
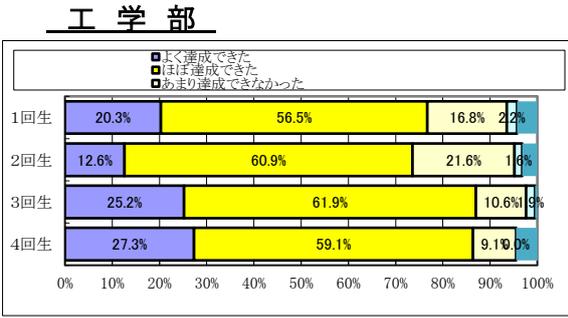
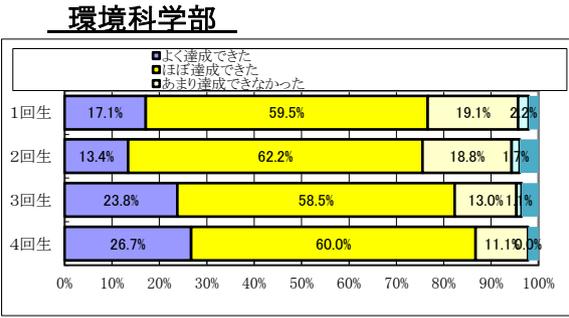
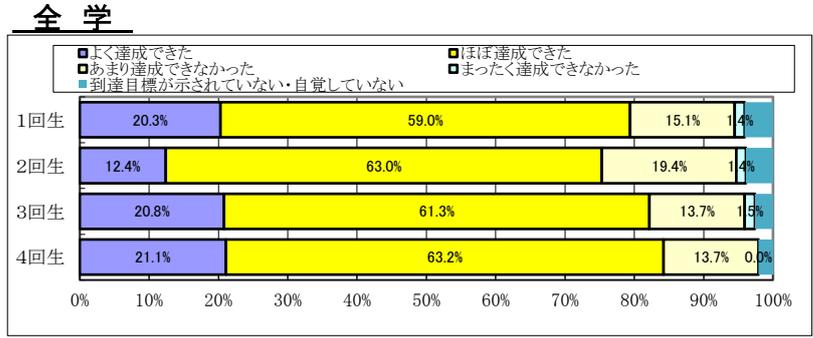


人間看護学部



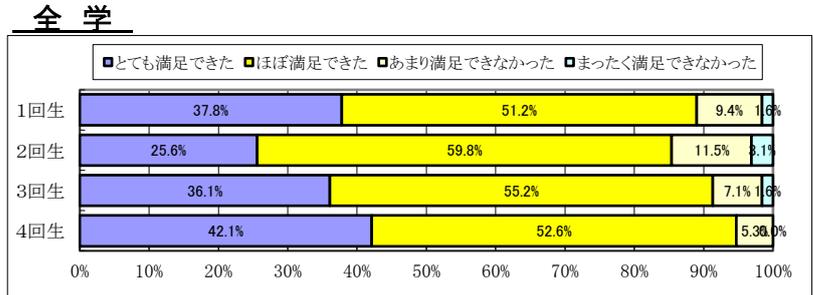
全学的に見て、分布に大きな変化は見られない。
 全学平均では、3割程度が「ほぼ0分」と回答しており、学生が自ら学ぶ工夫が必要と思われる。

Q13 この授業の到達目標の達成度

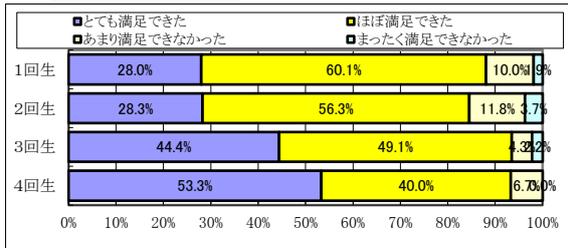


授業の到達目標の達成度について、全学を平均して7割超が「よく達成できた」「ほぼ達成できた」と回答している。昨年度までは、学年が進行するにつれて、「よく達成できた」「ほぼ達成できた」と回答する割合が高くなる傾向があったが、今年度は、学部によって結果にばらつきがみられる。

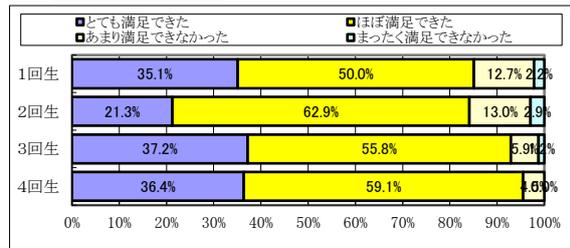
Q14 全体的な満足度



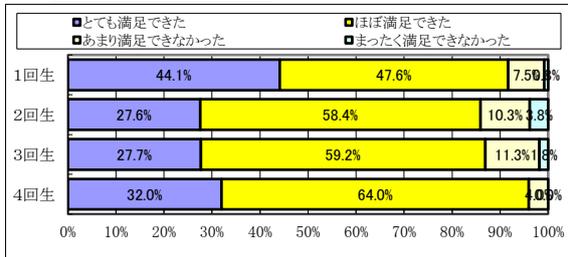
環境科学部



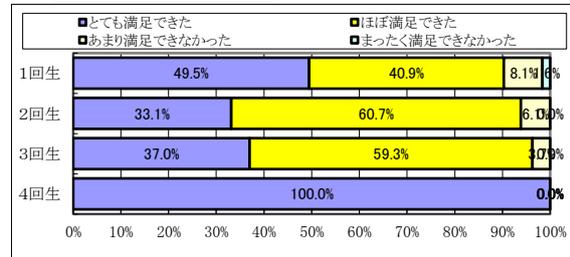
工学部



人間文化学部



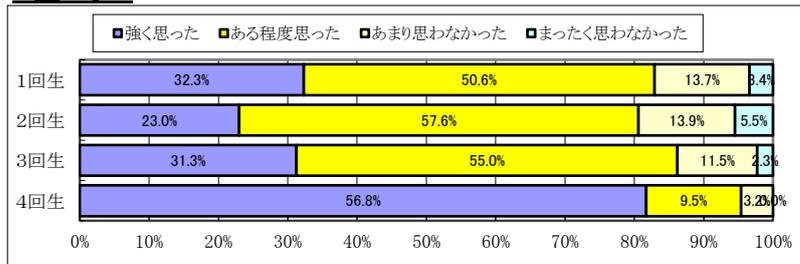
人間看護学部



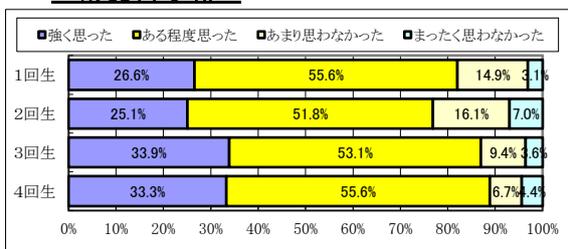
授業の満足度は、設問10「総合的にみて教え方は適切でしたか」の結果と概ね比例している。ただ、教員の教え方に比べて、授業の満足度が「とても満足できた」の割合が低くなっている。教員の教え方には満足しても全体的には、満足できないことがあると思われる。原因を分析して、授業改善以外に学生の満足度を高める努力が必要である。

Q15 その分野を今後も継続して勉強してみたいと思ったか

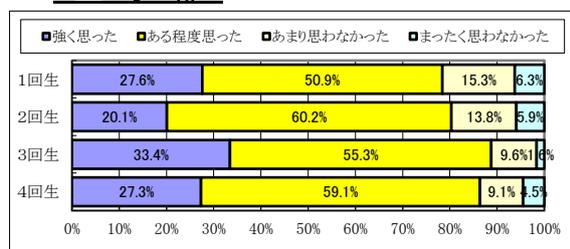
全学



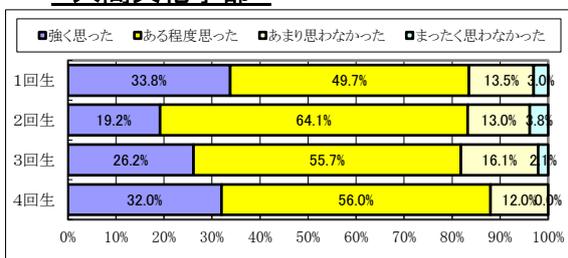
環境科学部



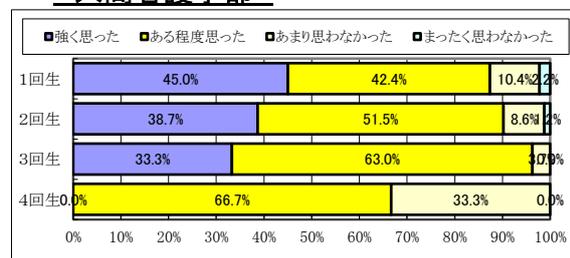
工学部



人間文化学部



人間看護学部

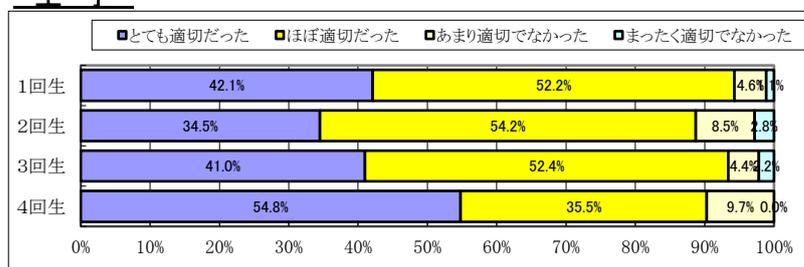


授業で学んだ内容をより深く学びたくなかったかについて、例年4回生のポイントが高い傾向があり、大きな変化は見られなかった。

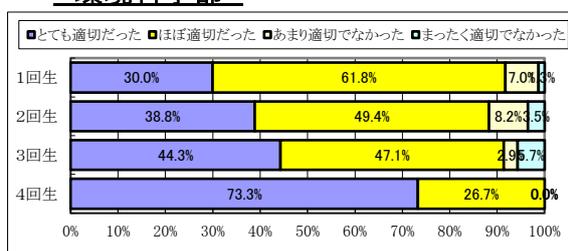
【Q16～Q19は実習・演習科目受講者のみ回答】

Q16 実習・演習に使用する用具や備品などの準備

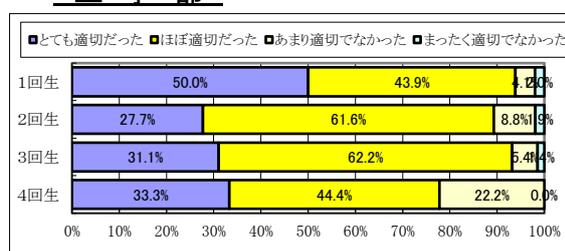
全学



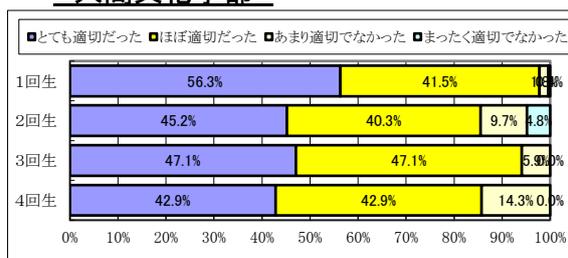
環境科学部



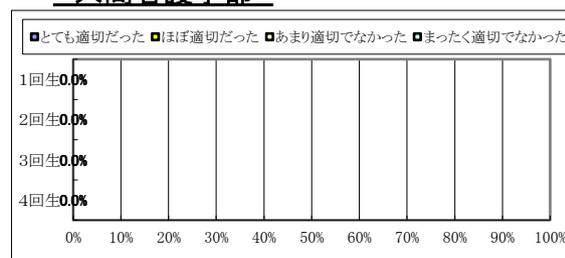
工学部



人間文化学部



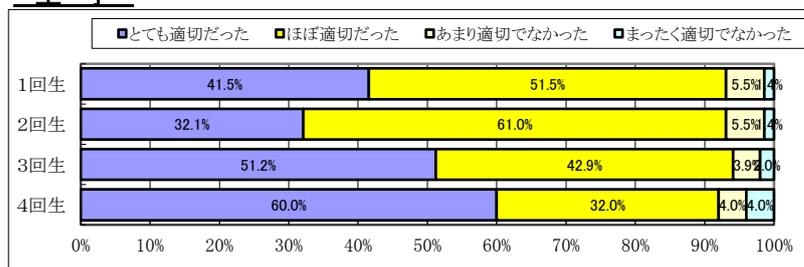
人間看護学部



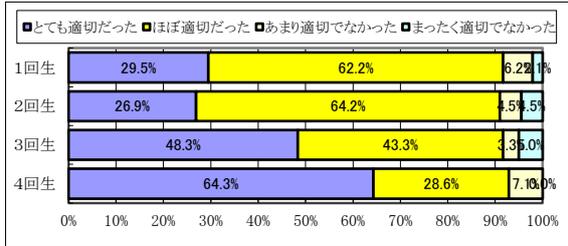
学部によりばらつきはあるが、全学で見ると「とても適切だった」「ほぼ適切だった」との回答が9割程度ある。なお、人間看護学部については、回答がなかったため、空欄となっている。

Q17 実習・演習の教員やTAの補助や対応

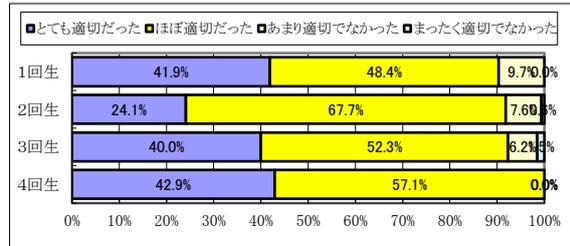
全学



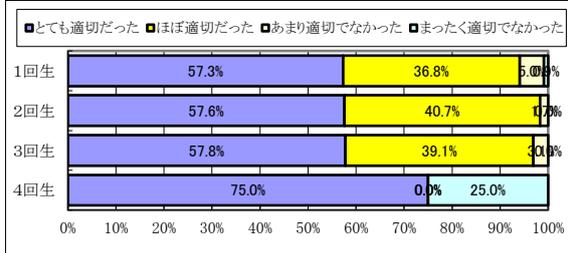
環境科学部



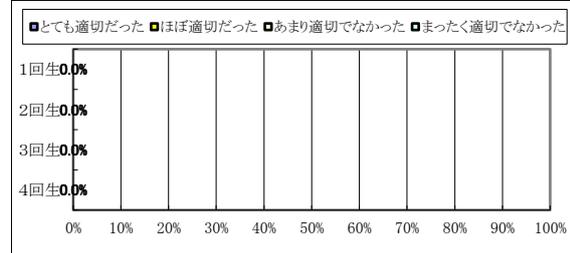
工学部



人間文化学部



人間看護学部

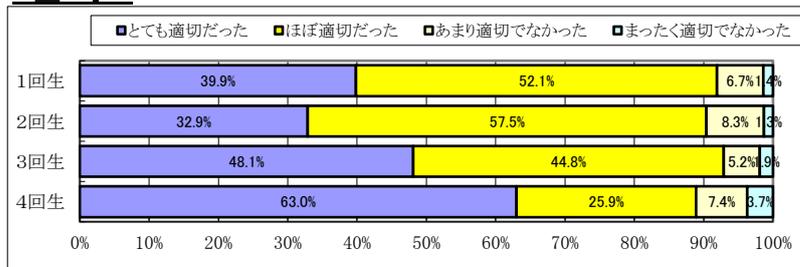


教員やTAの補助や対応について、全学で見ると「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している割合が高くなっている。

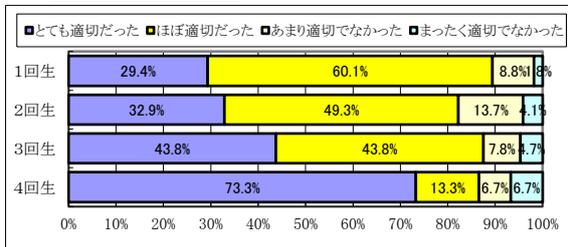
なお、人間看護学部については、回答がなかったため、空欄となっている。

Q18 実習・演習の進行状況や理解度の確認

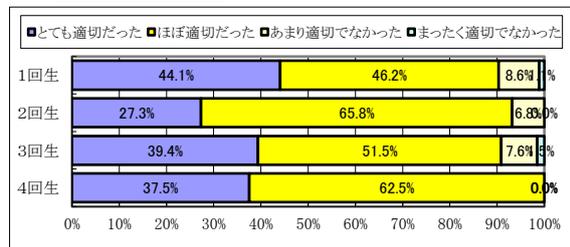
全学



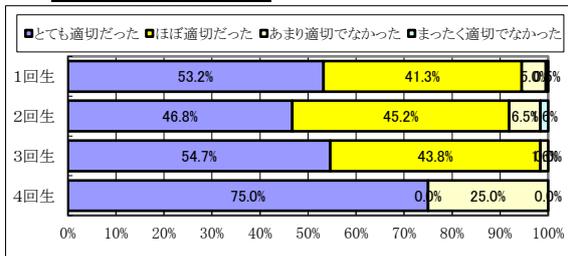
環境科学部



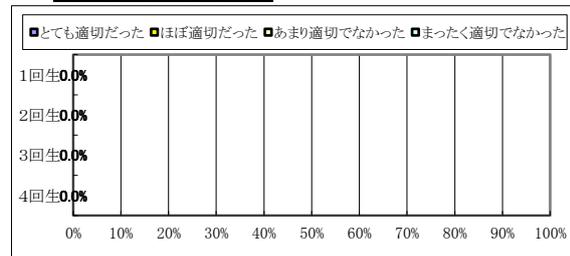
工学部



人間文化学部



人間看護学部

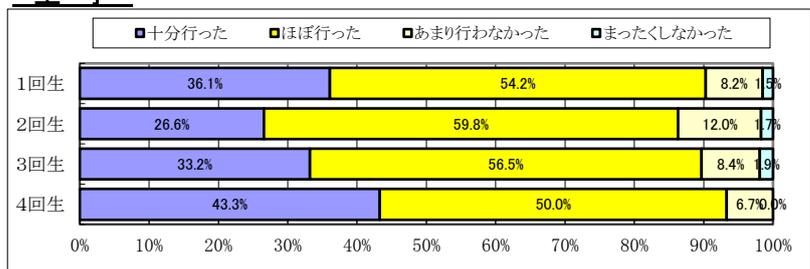


進行状況や理解度の確認については全学で見ると「とても適切だった」「ほぼ適切だった」と回答している割合が高くなっている。

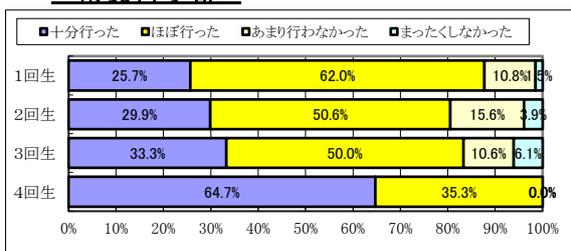
なお、人間看護学部については、回答がなかったため、空欄となっている。

Q19 あなたは、この実習・演習に必要な準備を行いましたか。

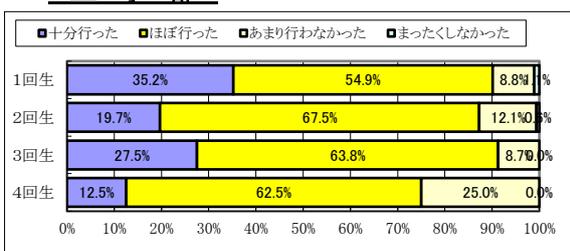
全学



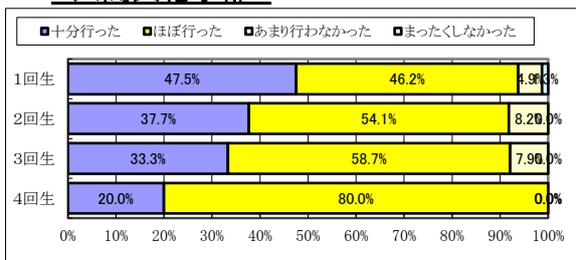
環境科学部



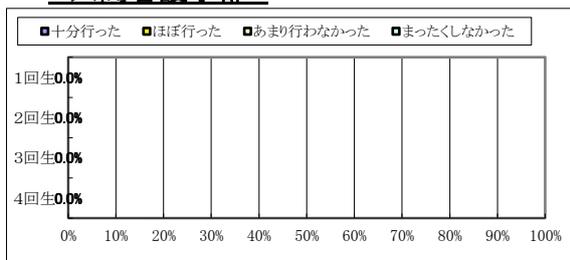
工学部



人間文化学部



人間看護学部



学生が実習・演習のために行った準備について、全学で見ると80%~90%が「十分行った」「ほぼ行った」と回答している。

なお、人間看護学部については、回答がなかったため、空欄となっている。